

航空法案外一件特別委員會議事速記録第二號

大正十年三月十五日(火曜日)午前十時五十六分開會

○副委員長(男爵坂本俊篤君) 是ヨリ開會イタシマス、昨日第二章マデ終リマシタカラ今日ハ第三章乗員ノ處カラ始メマス

○湯淺倉平君 第十八條ニ行政官廳ガ乗員ニ對シテ行ク處ノ検査ト云フモノハ、乗員ガ技倆證明書トカ航空免許狀トカ航空證明書トカヲ持ッテ居ルカ否カト云フヤウナ検査ヲスル譯デアリマスガ、身體検査、健康ノ検査ヲスル、斯ウ云フ意味デアリマスガ、或ハ何レヲモ含ンデ居ルト云フコトデアリマスガ

○説明員(神田純一君) 是ハ何レヲモ含ンデ居ルノデアリマスガ、主トシテ身體検査デゴザイマス、身體検査ニ付キマシテハ非常ニ嚴ニ検査ヲ致シマスノデゴザイマシテ、是ハ條約附屬書三十六頁ノ處ニ書イテゴザイマス必要ナ資格ガアルノデゴザイマス

○湯淺倉平君 此條約附屬書ノ細密ナ規定ハ未ダ能ク見テ居リマセヌノデスガ、斯ウ云フ検査ハ實驗心理學ニ依ッテノ検査マデ含ンデ居ルカト思ヒマスガ、飛行機航空機ノ乗員トナル最初ニ當ッテノ検査デナシニ、屢々斯様ナ検査ヲスルト云フ事ガ、事實ニ於テ出來マスデゴザイマスガ、法文ニ依リマスト定期又ハ臨時ト云フコトデ一度ナラズ二度ナラズ、再三検査ヲ必要トスルカノヤウニ見エルノデゴザイマスガ實施上ドウ云フ風ニナサレル御積リデゴザイマスガ

○説明員(神田純一君) 乗員ノ免許ヲ與ヘマス場合ニハ、此條約ノ規定ニアルヤウナ、細カイ體格検査ヲ致ス積リデ居リマスノデゴザイマスガ、定期検査臨時検査ニナリマス、條約ニモ書イテゴザイマスヤウニ、實ハ航空ニ關スル專門ノ検査ヲ受ケルト云フコトヲ要件トシテ居リマスガ、今日日本ノ現狀デハサウ云フ專門家ハ少ナイノデゴザイマス、免許後ノ定期又ハ臨時検査ト云フモノハ、當分ノ間ハ緩急宜シキニ依テヤルヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、又検査ハ非常ニ精密ナ検査機械ヲ要シマスノトデ、其検査

機械ノ如キモ目下ノ所デハ日本ニハ一ツカニツシカナイト云フヤウナ狀態デアリマス、免許後ノ身體検査ハドウモ條約通りニヤルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマス

○湯淺倉平君 十九條ノ命令ヲ以テ定ムル場所トアリマスノニハ、是ハ矢張り第二章十二條ノ命令ヲ以テ定ムル場所ト云フノト全ク同ジ場所デセツカ、違ッタ場所デ定メラレル趣意デアリマセウカ

○説明員(神田純一君) 十二條ノ命令ヲ以テ定メル場所ト全然同一ノ場所デゴザイマス

○湯淺倉平君 第二十條ノ六月以上運航ニ從事セザルトハ、就業ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命ゼラレルト云フコトニナツテ居リマスガ、其理由ハドウ云フ譯デゴザイマセウカ、六月以上ノ航空ヲシナイト云フト、技倆ガ落ちタルト云フトデモ言フヤウナ關係ガ起ル譯デゴザイマスガ

○説明員(神田純一君) サウ云フ考デアリマス、絶對ノ規定デハナイノデゴザイマシテ、命ズルコトヲ得デアリマシテ、多少ユトリヲ取ッテ居ル積リデアリマス

○湯淺倉平君 保安上ノ必要ト云フモノハ、ドウ云フ場合ヲ豫想サレテ居リマスガ

○説明員(神田純一君) 定期又ハ臨時検査ヲ致シマシテ、其航空機ガ航空スルト云フコトガ、非常ニ危険デアルト云フヤウナ場合ハ、言フマデモナイコトデゴザイマスガ、其他警察官吏ナドガ如何ニモ飛行機ヲ飛バシテハイケナイト云フコトナ... 間違ヒマシタ、人ニ付テノ問題デアリマシタ、検査官吏ガ定期又ハ臨時ノ検査ヲ致シマシテ、其人間ガ乗員トシテハドウモ危険デアルト云フヤウナ場合モ勿論デアリマシテ、又其乗員ガ泥酔ナドシテ居リマス場合ニハ、サウ云フ者ニ操縦ヲサセルト云フヤウナ事ハ、飛行機ノ墜落ナドノ危険ガ起リ易イト云フヤウナ場合ニ、警察官吏デモ其就業ノ停止ヲ命ズルコトガ出來ルト云フヤウナ意味デ規定シタノデアリマス

○湯淺倉平君 此第十八條第二十條ノ行政官廳ト云フ文字ハ、ドウ云フ所ヲ指シテ居ルノデゴザイマセウカ、第十八條ノハ或ハ陸軍省トカ航空局トカ陸軍省トデモ云フヤウナ御積リデゴザイマスガ

○説明員(神田純一君) 是ハマダ各省共ニ打合セナケレバシツカリシタコトハ申上ニクイデアリマスガ、第十八條ガ大體航空機ノ乗員ノ検査ヲシテ居ル、官廳デヤルト云フ事ハ容易デハナカラウト思ヒマス從テ是ハ航空局長官ガ詰リ検査ヲスルト云フコトニナラウト思ヒマス、第二十條ノ場合ハ検査官廳以外ノ... 先程申シタヤウナ警察官吏ト云フヤウナモノモ此行政官廳ノ中ニ含ム場合ガアルト考ヘマス

○湯淺倉平君 此二十條ノ行政官廳ト云フヤウナコトハ、行政官廳ガ働キカケル場合ハ兎モ角モ、末項ノ規定ノ如キハ乗員ノ側カラ或特定ノ行政官廳ニ對シテ或行爲ヲシナケレバナラヌト云フ事ニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノハ何トカ命令ノ規定デモ、何レノ行政官廳ヲ指スモノデアルト云フコトヲ明カニセラレルノデアリマスガ

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、此行政官廳ハ命令ノ規定スル譯デゴザイマス、サウシテ乗員ノ方カラ働キカケルヤウナ場合モ、自然命令ノ規定デ定メル場合ガアルト思ヒマス、例ヘバ乗員ガ何箇月以上病氣デ寢テ居ッタト云フヤウナ場合ニ、屈ラ出スト云フヤウナコトモ、自然命令ノ規定ニ書クヤウニナルト考ヘマス

○男爵坂本俊篤君 第十五條ニ航空機ノ乗員ニ非ザレバトゴザイマスガ、乗員ト云フ字ハ如何ニモ普通ノ文字ヲ使ッテアル様ニ思ヒマスガ、何カ運轉手トカ或ハ船ナラバ船長トカ何トカ云フヤウナ、特定ノ名稱ガアリサウナモノデゴザイマスガ、航空機ニ乗ル人、斯ウ云フヤウナ具合ニ只名ガ... 航空付イテ居ルヤウデアリマスガ、固有名詞トシテハ何ヤラ物足ラヌヤウデアリマスガ、外國アタリデハドンナ字ヲ用キテ居リマスガ

○説明員(神田純一君) 是ハ條約ノ十二條ニテヨツト之ニ對照シタ條文ガアリマス、ソレハ八「ページ」ニアリマス「一切ノ航空機ノ機長、操縦者、技師及航空ニ從事スル其他ノ乗組員ハ第五附屬書ニ規定スル條件ニ依リ航空機所屬國ガ下附シ又有效ト認ムル技術證明書及免狀ヲ携帶スヘシ」飛行機ガ小サイモノデゴザイマスレバ、唯搭乗者一人デ宜イノデアリマスケレドモ、旅客トカ、貨物運送トカ云フ大キイ飛行機ニナリマス、ソレニ航空機技師ガ乗ッテ居リマス「エンヂニヤ」トカ「メカニカル」トカ云フモノガ乗ッテ居ル必要ガアリマス、一々ソレヲ列記スルト云フコトハ、法文ノ體裁上、面白クナイト思ッテ一纏メニ纏メテ乗員ト致シマシタ、船ノ方ノ關係ニ於キマシテハ乗組員ヲ使ッテ居リマス、一人デアル場合ガアルノデ、乗員ト云フ新シイ文字ヲ出シマシタ、現今ノ條約文ヲ讀ンデ見マス、航空機長ト云フ分ニハ「コンマンダー」オ「フサイ」ト云フ字ヲ使ヒ、搭乗者ハ「ピロット」ト云フ文字ヲ使ヒ、技師ハ「エンヂニヤ」ト云フ文字ヲ使ッテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 原語ノ方ハ如何ニモ固有名稱トシテ當嵌ッテ居ル様ニ存ジマスガ、此乗員ト云フト、航空機ノ乗手ミタヤウナ工合デ、何ヤラ航空機ノ如キ重要ナモノヲ、責任ヲ有ッテ乗ル人ノ名稱トシテハ物足ラヌヤウデアリマスガ、併シソレハ御説明ヲ承ルダケデ、彼レ申ス次第デアリマセヌ

○説明員(神田純一君) 詰リ乗員ノ免狀規則ガ出來マシテ、サウシテサウ云フ者ハドウ云フ試驗ヲ受ケナケレバナラヌト決メマスカラ、乗員ノ意義ト云フモノハ其規則ノ方デ決メル譯デアリマス

○男爵坂本俊篤君 第十六條ニ「行政官廳ノ行フ考查ニ合格シタル者」トアリマシテ、考查ト云フ文字ガ使ッテアリマス、第十八條ニハ「臨時ニ検査」ト斯ウアリマス、唯今検査ト云フコトニ付テハ御説明ガゴザイマシタガ、尙ホ此前ノ「考查」ト後ノ「検査」ト云フ、此區別ハ何カハッキリシタ意味ガアリマスカ

○説明員(神田純一君) 技師證明書ハ唯技師ノ試驗ノミデナク、體格検査モヤルノデアリマスカラシテ、行政官廳ノ試驗ト云フヨリ考查ト云フ文字ガ宜イト

思ッテ、考查ト云フ字ヲ用キマシタ

○男爵坂本俊篤君 十八條ノ方ノ検査ハ……

○説明員(神田純一君) 十八條ノ検査ハ矢張り身體検査トカ、或ハ先刻御質問ガゴザイマシタヤウナ、免狀ヲ取調ベルトカ、技師證明書ヲ取調ベルトカ云フコトヲヤリマス

○男爵坂本俊篤君 此第二十條ノ「六月以上運航ニ從事セサルトキ」是ハ湯淺君ノ御質問ガゴザイマシタガ、私モドウモ單ニ六月以上運航シナカッタト云フ理由ヲ以テ、就業制限停止又ハ禁止ヲ命ゼラル、コトヲ得ト云フダケデ、餘裕ハ存シテ居リマスガ、先ヅ以テ六月經テバ、是ダケノ缺點ガアルモノダト云フコトガ前提サレナクテハ斯ウ云フ註文ハ出テ來ナイト思ヒマスガ、果シテサウ云フ工合ニ斷定サレテ居ルノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 大體ノ標準ヲ定メタダケデゴザイマス、又此定期検査モ六箇月毎ニシタ方ガ宜カラウト云フ趣旨デゴザイマス、外國ノ立法令ヲ讀ンデモ一年トシタノモアリマスガ、矢張り六月ト云フノモアリマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 第三章、御質問ゴザイマセスカ

ソレデハ第四章、飛行場及其經營者ニ移リマス、四章全部ヲ問題ニ供シマス

○湯淺倉平君 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營ト云フコトガアッテ、日本ノ現在ノ所デハ容易ニ實施サレサウニモ考ヘマセスカ、大體ハ此章デ豫期セラレテ居ルノハ、私人ガ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ經營スル場合ニ對スル取締規定ノヤウニ思ハレマスガ、現在ニ於テ何カ斯ウ云フ法律ノ制定サレタ曉ニハ、斯ウ云フ經營ヲシヤウト云フヤウナ御見込ノモノガアルノデゴザイマセウカ、唯是ハ規定ノ上デ將來ノ豫想ノ下ニ規定ヲ設ケラレタト云フ譯ニ止ルノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 飛行事業ノ進歩ト共ニ、飛行場ヲ設タイト云フ事ガ一般民間飛行家ノ希望デアリマスノミナラズ、又飛行協會等ニ於テモ同様ナ御希望ガアルノデアリマス、ノミナラズ將來飛行機ノ製造業ナンカガ盛ニナリマスト云フト、ドウシテモ

其飛行機製造所ニ附屬シタ一ツノ飛行場ガ必要ナンデアリマスガ、本法ノヤウナ規定ガアリマスト云フト、其飛行場ノ敷地ヲ收用スルト云フヤウナ便宜モアリマスルシ、自然之ヲ私用ノ飛行場トシナイデ、公共ノ飛行場トスルヤウニナッテ來ルト思フノデアリマス、サウシテ或ハ一定ノ補助ヲ與ヘマシテ、地方公共團體ニ飛行場設置ノ義務ヲ負擔サスト云フヤウナコトモ出來ルダラウト考ヘテ居ルノデアリマスガ、差シ當リ其所マデノ規定ヲ之ニ規定イタシマスコトヲ避ケマシテ、唯當面ノ豫想ト致シマシテハ、飛行事業ヲ獎勵スルヤウナ或ル團體ガ飛行場ヲ造ル、或ハ民間飛行機ノ製造業者ガ私用ノ飛行場ト兼用デ公共用ノ飛行場ヲ造ルダラウト云フコトヲ豫想シテ居リマス

○湯淺倉平君 第二十四條ノ飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルベキモノアルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ必要ナル航空標識ノ設置ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居リマスガ、五百「メートル」ト云フ區域ヲ定メラレタノハドウ云フ根據ニ依ルノデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 是ハ條約ニモアルノデアリマシテ、附屬書ノ方ノ二十六頁ノ所ニ第五款ノ四十八項ノ所ニアルノデアリマス、詰リ飛行機ガ離陸、著陸シマス場合ニハ、一定ノ角度ヲ以テ離陸、著陸イタシマスノデアリマスカラ、五百「メートル」以外ノ區域内ニサウ云フ危險物ガアル場合ニ障礙トナル、其目印ニ航空標識ト云フモノヲ設置シテヤラナケレバ航空ノ安全ガ保障サレナイト云フヤウナ趣旨ナンデアリマス

○男爵坂本俊篤君 矢張り第二十四條デアリマスガ、航空ノ障礙トナルベキモノハドンナモノデアリマスカ、不案内デアリマスカラ、例ヘバ斯ウ云フヤウナモノガアッタ時ニハ斯ウ云フ工合ニスレバ五百「メートル」ノ距離ガアレバ安全デアルト云フ、チヨット實例ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(井上幾太郎君) 是ハ電信デアルトカ、或ハ一本獨立シタ木デアルトカ、塔デアルトカ云フモノデアリマス、殊ニ電信ガ一番遠カラ見エヌノデ

アリマシテ、障礙ニナルモノデアリマス、サウ云フモノヲ標識スルノデアリマス

○湯淺倉平君 公共ノ用ニ供スル飛行場ト云フモノハ佛蘭西トカ、英吉利トカ、此航空機ノ發達シタ先進國ニ於テハ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスノデゴザイマセウカ、斯ウ云フモノガ非常ニ澤山アッテ、或ハ政府カラ相當ナ補助ヲ出シテ居ルノデアリマス、或ハ航空者ニ飛行場ノ使用料ヲ請求スル、使用料ヲ取ル、斯ウ云フヤウナ事ヲ維持サレテ居ルトカ云フヤウニ、公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營ト云フコトハ、是マデ困難デナク、且ツ澤山ニ斯ウ云フモノガ出來テ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスルカ、ドンナ工合ニナッテ居リマスカ

○説明員(神田純一君) 各國ニ於ケル飛行場ノ公共用ニ供スル飛行場ノ數ハ、今チヨット材料ヲ有ッテ居リマセウガ、調ベタラ分リマスガ、英吉利デハ確カ百二十幾ツアツカト記憶シテ居リマス、是等ノ飛行場ハ大部分戰時中ニ軍用飛行場トシテ使用サレタ様ナ場所ガ多イノデアリマス、ソレガ民間飛行場ニ代用サレテ居ルト云フ様ナ狀況デアリマス、飛行場ノ設置ニ對シマス政府ノ補助方針ニ付キマシテモ、矢張り此法案ト同ジヤウニ土地收用ヲ認メタ例モアリマス、飛行機ガ油ヲ載セ得ル場合ニハ、其飛行場ノ經營者カラ其油ヲ買入レナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ法律デ決メマシテ、收入ノ途ヲ圖ッテ居ルモノモアルノデアリマス、使用料ヲ徵收スル權限ヲ飛行場經營者ニ認メテ居ルモノモアリマス、條約ニモサウ云フモノアルコトヲ豫想シタ規定モアルノデアリマス、例ヘバ公共用ノ飛行場ハ使用料サヘ拂ヘバ國籍ノ區別ナク之ヲ使用シナケレバナラヌト云フ規定モ條約ニ定メテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 公共ノ用ニ供スル飛行場、又ハ公共ノ用ニ供セザル飛行場ハ、我國ニ於テハ是等ノ種類ノモノハゴザイマス、アリマスナラバ何處何處ニアリマスカ

○説明員(神田純一君) 唯今公共ノ用ニ供スル飛行場ト云フモノハ、日本ニハマダ設置シテゴザイマセウ、唯私人ガ飛行場ヲ有ッテ居ル所ハゴザイマス、例

ヘバ太田ト云フ所ニ中島飛行機製造所ガアリマス、其附屬ノ飛行場ヲ有ッテ居リマス、或ハ特殊ナ海岸ノ砂地ナシカ政府ノ許可ヲ受ケテ飛行場ニシテ居ルト云フヤウナガ地方ニ二三ハゴザイマスノデスガ、マダ公共ノ用ニ供スルト云フヤウナ飛行場ト云フモノハ設置ハゴザイマセウデス

○湯淺倉平君 第二十八條ノ條文ト云フモノハ一體ドウ云フ必要ガアルノデゴザイマスルカ

○説明員(神田純一君) 是ハ詰リ私用ノ飛行場ハ其設置ノ許可ニ當ッテハ利用ノ程度ヲ標準トシテ之ヲ許可スルノデアルカラシテ、私有飛行場ニ一般飛行機ヲ自由ニ離陸著陸サスルコト云フコトハ、非常ニ間違ガ多イ、ソレデ他人ニ屬スル航空機ヲソコニ離陸、著陸スル場合ニハ、特ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケルト云フ趣意デゴザイマス

○湯淺倉平君 サウ致シマスルト、公共ノ用ニ供スル飛行場ト公共ノ用ニ供セザル飛行場ト云フモノハ、區域ノ廣狹ト言ヒマス、規模ノ大小ト言ヒマス、サウ云フ點ニ當然差ガアル、尙ホ又其設備ニ付テモ違ハナケレバナラナイト云フヤウナ譯ノモノニナッテ居ル譯デゴザイマス

○説明員(神田純一君) 公共ノ用ニ供スル飛行場デアリマスレバ、特殊ナ設備ヲ必要トスル、例ヘバ初メカラサウ理想のニハ參リマセウケレドモ、若シ航空ト云フヤウナ事ガ盛ニナリマスレバ、公共用ノ飛行場ニハ醫療機械ヲ設置スルトカ、或ハ通信機關ヲ設置スルトカ、或ハ簡易ナ氣象設備デモ設ケル、或ハ特殊ノ航空標識ヲ設置シロト云フヤウナ設備ノ上ニ於テモ區別ガアリマスノデ、又區域ニ付テモ一定ノ標準ガアルノデアリマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵柳原義光君) 是カラ速記ヲ始メマス、マダ第四章ニ御質問ガアリマスノデスカ

○子爵高倉永則君 第三十條ノ「又ハ皇陵ノ上空千メートル」斯ウ云フコトガゴザイマス、是ハドウ云フ所カラ千「メートル」ト云フコトハ出タノデアリマス

○説明員(神田純一君) 大體是ハ不敬ニ互ラス様ニト云フ事カラ出テ居ルノデアリマスガ、普通外國デハ千「メートル」位ノ高度ガ航空スルノニ一番便利ノ宜イ航空ノ高度デアアルサウデアリマス、日本デハ少シ飛行機ガ惡ウゴザイマス、先ヅ千五百「メートル」内外ノ高度ガ一番航空スルニ都合ノ好イ高度デサウデアリマス、ソレデ故ナク千「メートル」以下ニ降リテ來タ場合ハ特ニ不敬ノ意味デアルト認メテ宜カラウト云フノデ千「メートル」ト規定イタシマシタ

○湯淺倉平君 唯今ノ同ジ條デゴザイマスガ、上空ト云フノハ垂直ノ意味デゴザイマス

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス、垂直ノ意味デゴザイマス

○湯淺倉平君 此神宮ハ總テ神宮ノ名稱ノ付イテ居リマス神社ハ悉ク合シテ居ルノデアリマス、ドコドコデゴザイマスカ具體的ニ

○説明員(神田純一君) 是ハ刑法ノ條文デ百三十一條及七十四條ノ條文ニ使ッテアル神宮ノ意味デアリマシテ、刑法ノ解釋デハ伊勢神宮ノミニ限ッタルサウデアリマス

○湯淺倉平君 サウ致シマスルト明治神宮ハ此第一項ニ含マナイ、第二項ノ命令ノ内ニデモ制限禁止ノ規定ヲ御設ケニナルト云フ風ニ了解イタシテ宜シウゴザイマス

○説明員(神田純一君) 左様デアリマス、公安上、明治神宮ノ如キ非常ニ參拜者ノアル所デハ、制限スル必要ノアル場合ニハ二項ノ規定デ制限スル趣旨デゴザイマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 熱田神宮トカ他ノ神宮ニハ及ボサナイノデスカ

○説明員(神田純一君) 刑法ノ解釋デハ詰リ神宮ト云フノハ伊勢神宮ニ限ルト云フノデ、ソレト同ジ解釋ニ依ルト云フ趣旨デゴザイマス

○子爵高倉永則君 第三十條ニ「故ナク」此故ナクト云フノハ、ドウ云フ場合ニハ上ヲ通過シテ宜シイノデアリマス

○説明員(神田純一君) 「故ナク」ト云フノハ、アツテモナクモ宜イト云フヤウナ學說モアルサウデア

リマスガ、此所デハ先ヅ刑法ニ矢張り「故ナク」ト云フ文字ヲ使ッテアリマスカラ、ソレト同ジ筆法デ使ヒマシタ、例ヘバ非常ニ雲ガ立ッテ居ル、一千「メートル」以上ノ高度ハ飛ベナイ、航空スルコトガ出来ヌト云フ場合ニハ、已ムヲ得ズ「メートル」ヲ下ッテモ差支ナイト云フ趣旨デアリマス

○子爵高倉永則君 サウスルト絶對ニ上空ハ飛ベナイト云フコトニシテ、サウシテ場合ニ依ッテ唯已ムヲ得ヌ時ト云フ意味ノ方ニ取ッテラドウカ、絶對ニ上空ハ飛ベナイ其他ノ場合ニハ已ムヲ得ヌト云フコトニ規定サレタラドウカ、故ナク「ト云フ」最初ハ飛ンデモ宜イト云フ意味モ含マレテ居ルヤウニ見ヘマスガ

○説明員(神田純一君) 刑法二十條ニ同ジ様ナ條文ガアルノデアリマス、ソレト同ジニ刑法ノ方デ解釋モ自然決マッテ居リマスノデ、同ジヤウナ文字ヲ使ッテモ差支ナイダラウト云フノデ、サウ云フ風ニ致シマシタ

○男爵坂本俊篤君 矢張り同一ノ條デアリマスガ、第二項ノ「禁止」必要トスル場合ニ關シテハ、禁止ヲ必要トスル場所ハ、是ハ何レドコソコト云フコトガ公示サレルコトデアラウト思ヒマスガ、一度ビ之ニ公示サレタ以上ハ、其場所ヲ知ラズニト云フコトハ最早理由ノナイコトト看做サレルノデアリマスガ、ドウ云フコトデアリマス

○説明員(神田純一君) 此場所ヲ定メマスノハ、航空禁止ノ場所ハ必要ニ依リマシテ特殊ナ航空標識ヲ付マシテ此所ハ禁止區域ト云フコトヲ表示スルコトガ出来ルト思ヒマス、一旦其禁止區域ヲ定メマシタ以上ハ、而カモソレガ適法ニ表示サレマシタ以上ハ、知ラナイト云フコトハ云ヘナイ譯デアリマス

○湯淺倉平君 唯今ノ御答辯ハ斯様ニ解シテ差支アリマセスカ、此制限若クハ禁止サレテ居ル區域ヲ知ラナイデ航空シタモノガアル場合ニハ、其モノハソレヲ知ラナイト云フ事デ以テ罪ヲ免レル事ハ出来ナイ、言葉ヲ換ヘテ云ヒマスレバ罪トナル、事實ヲ知ラナイノデハナクシテ、罪トナル法律ヲ知ラナイ、從ッテ制裁ヲ免レルコトハ出来ナイ、斯様ナ御答辯ト了解シテ差支アリマセスカ

○説明員(神田純一君) ソレハ刑法ノ一般解釋ニ依ルコトト思ヒマス

○湯淺倉平君 刑法ノ一般解釋ニ依ルトシマスルト此規定ハ無論刑事法規ト解釋スルノデアリマスガ

○説明員(神田純一君) 左様ニ解釋シテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 斯様ナ禁ヲ犯シタモノハ其場所ニ於テ射撃等ヲ致シテモ差支ナイコトニ當ラウカト思ヒマスガ、何カサウ云フコトハ從來御規定ニモナル御豫定ニナッテ居リマスガ

○説明員(神田純一君) 實ハ當初ノ案ニハソコマデ規定シタノデアリマス、現ニ關稅法ノ如キモノソレニ類似シタ規定ガアルノデアリマスケレドモ、ソコマデ此際規定スル必要ハナイダラウ、ト云フヤウナ意見モゴザイマシテ、ソコマデノ規定ニハ及ビマセスデゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 條約ノ第四條ニ斯ウ云フコトガゴザイマスガ「禁止」地域上ヲ飛行スル一切ノ航空機ハ其事ヲ知ルト共ニ條約第四附屬書十七ニ定ムル遭難信號ヲ爲ス」云々トゴザイマス、之ハドウ云フコトヲ豫想シタノデアリマスルカ、多分ニハ斯様ナ場所ハ飛行スルコトハナラナイ、ト云フコトヲ知ラズニウツカリ其處ニ來テ、サウシテ地上カラ其處ハ通過テハ罷リ成ラヌ、ト云フ信號デモ受ケタ場合ニ、此遭難信號ヲシテ、サウシテ其附近ノ飛行場ニ著陸スルト、斯ウ云フコトヲ規定シタモノノヤウデアリマスガ、是ハ其所ヲ通ッテハナラヌ、降リ口、停マレ、斯ウ云フ意味デアッテ、サウシテ其降ルニ付テハ遭難信號ヲシテ降ルノデアアル、斯ウ云フ意味ニ解シテ宜シイ箇條デアリマスガ、チヨット此二十八條ト是トハ丁度照合フ條項カ知ラヌト存ジマスガ、序ニ伺ヒマス

○説明員(神田純一君) 之ハ條約ノ解釋ノ問題ニナリマスノデアリマスケレドモ、私ト致シマシテハ、荷モ禁止區域ヲ飛行シタ事實ヲ知ッタナラバ、下カラ著陸ヲ命ゼラル、ト否トニ拘ラズ、最寄ノ著陸場ニ降リテ禁止區域外ニ出デ、サウシテ事實ヲ通告スルト云フヤウニ解釋サレルノデハナイカト思ヒマス、多分ニハ條約ノ方ノ規定デ、附則ノ方ノ規定デ、降リテ警察ニ通知セヨト云フ規定ガアッタヤウニ思ッテ居マ

○男爵坂本俊篤君 サウスルト此條約ノ第四條ト云フモノハ、自分デ其事ヲ覺知シタ場合デ、他カラ制止ヲ受ケタ場合デハナイト云フ御解釋デアリマスガ

○説明員(神田純一君) 右様デゴザイマス、尤モ之ハ外務省ノ政府委員ニモ能ク聞イテ見マシテ、著陸信號ヲシタラ其命ゼラレタ場合ニモ其處ニ降リル、自分ガ禁止區域ヲ通ッテ居ルト云フコトヲ認識シタ場合ニモ降リルト云フコトト思ヒマス

○湯淺倉平君 茲デ伺フノハ如何カト思ヒマスガ、大體此航空ヲ爲スニ付テ乗員ノ守ルベキ幾多ノ義務ガ此法律案ニ規定ニナッテ居リマス、又條約ノ方ニモアリマスガ、規定ニハアリマスケレドモ、規定ニ基イテ取締ヲ實行スルコトハ廣イ地域ニ互ッテ航空サレルコトデアリマスルカラ、容易ナ事デハアルマイト思ヒマスルガ、其取締ヲサレル機關及方法ニ付テハ、大體ドウ云ウ御計畫、御見込デゴザイマセウカ、例ヘテ見マスルト、要塞ノ上、或ハ要港ノ上、或ハ皇居、禁苑ノ上ヲ通ッタトカ、通ラナイトカ云フヤウナ事ニ付キマシテハ、何人ガソレヲ認メテ、確認シテ、サウシテ取締ヲスルカ、ト云フヤウナ事ハチヨット見當ガ附テ航空機ガ飛行シタト云フヤウナ場合ニ、或ハ離宮ノ上ヲ通ッタデハナイカ、或ハ皇陵ノ上空ヲ通ッタデハナイカト云フヤウナ疑ガアリマシテモ、何人ガ之ヲ確認スルカ、何人ガソレニ對シテ制止スルカ、著陸ヲ命ズルカト云フヤウナ事ヲ、ドウ云フ工合ニシテ御實行ニナル御積デセウカ、法案實施ノ曉ニハ何等カソレニ付テノ御計畫ガアルベキモノト思ヒマスガ、大體ノ御示シヲ願ヒタイ

○説明員(神田純一君) 航空ガ自然盛シニナッテ參リマスレバ、警察用飛行機ト云フモノモ出テ來ル譯デアリマスガ、差當リノ處デハ普通警察官ニ取締ッテ貰フト云フヨリ外ニ方法ヲ考ヘテ居リマセスデス、又實際ノ必要モ現在ノ航空界ノ狀況デハ警察用飛行機マデモ用キテ特ニ航空警察ヲ行フト云フマデノ必要ハナカラウト思ヒマス、自然必要ニ應ジマシテサウ云フ設備ヲヤッテ行クト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○子爵高倉永則君 今ノ御質問ニ續イテ、此離宮トカ、禁苑ト云フモノニハ、夫レ警戒シテ居リマスノデアリマスガ、皇陵ノ上ヲ通ルト云フコトハ、皇陵ニハ誰モ守衛ハ居ラナイ、斯ウ云フ所ハ特ニ將來ハ警察官デモ置クト云フ方法デモ取ラレルノカ、ドウカ

○説明員(神田純一君) 其處ハ内務省所管ノ問題ニナルノデゴザイマスガ、事實其規則違反者ガ多イト云フコトニナリマスレバ、自然警察官ヲ派遣シテ、禁止區域ヲ犯スト下カラ信號ヲ致シマシテ、區域外ニ出ロト云フ事ヲ命ズルヤウニナルノデアリマスガ、差當リ此法律ガ出ルト直チニサウ云フ監視官ヲ置クカドウカト云フ問題ニ付テハ考ヘテ居リマセヌ

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデ第六章雜則ニ移リマス、丁度彼レ是レ十二時ニナリマシタカラ切リガ宜イノデ此處デ休憩シテ、午後一時カラ開クコトニ致シマス

午後零時二分休憩

午後一時二十九分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) 是ヨリ引續イテ開會イタシマス、第六章、雜則ヲ全部問題ニ供シマス

○湯淺倉平君 此法律ガ施行ニナリマスル場合ニハ、一定ノ場所ニ税關ノ派出所ト云ヒマスガ、出張所ト云ヒマスガ、サウ云フ様ナモノ、及ビ檢疫上必要ナ官衛ヲ設ケラレルト云フコトニナラナレバナラナイト思フノデスガ、ソレバドウ云フモノガ御豫定ニナツテ居リマスガ、サウシテ大凡ソドノ程度ノ計畫ヲナサル御見込デゴザイマスガ

○説明員(神田純一君) 國際航空ガ開カレマスルト云フト、自然税關飛行場ト云フモノガ出來ルノデアリマス、外國カラ参リマス 航空機ハ其ノ税關飛行場ニ届出ヲシナケレバナラヌト云フ事ニナルノデアリマス、唯其税關飛行場ノ場所ガイロノ關係デ地方ノ税關所在地ト一致スル譯ニ往キマセスデス、サウ云フ場合ニ税關ノ派出所ガ設ケラレルト思ヒマス、檢疫ニ付キマシテモ、海港場檢疫ニ於キマシテハ海港ニ参リマスル前ニ檢疫ヲ受ケマス所ガ海港場ニナケレバナラナイノデアリマスガ、飛行機ニ對シテ

ハ海港場ニ檢疫所ヲ設ケルト云フ事ハ、非常ニ費用モ掛カル事デアリマシテ、殊ニ乗員、其他乗客又ハ貨物等ノ、病氣ナドヲ携帶スル危險モ船舶ニ比較シマスト少ナイノデアリマスカラ、普通ノ税關飛行場ニ降りマシテ、其所デ檢疫シタラドウカト思フテ居リス

○湯淺倉平君 第四十四條ノ一號ヲ見ルト、其ノ他ノ物件トアリマスノハ、是ハ條約カ何カニ規定ガアリマスガ

○説明員(神田純一君) 條約ニ規定ノアル分モゴザイマス、大體乗用ノ飛行機ニ乗客ヲ乗セテ來マス所ノモノ、運送用飛行機ニハ無線電信機ヲ設備セイト云フ規定モゴザイマス、サウ云フ様ナモノヲ規定シテ居リマス、或ハ航空ノ安全ヲ保障スル爲ニ特殊ノ必要ナル所ノ物件ヲ設置サセル、或ハ乗客運用上ノ航空機ニハ赤イ瓦斯ヲ備ヘテ置クト云フコトモ、自然起ツテ來ルコト考ヘテ居リマス

○男爵藤井包總君 第三十八條ニ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ矢張り此土地ヲ使用セムトスル場合ニハ土地收用法ニ依ラヌケレバ出來ヌノデスナ、三十七條ニモアリマスガ

○説明員(神田純一君) 土地收用法ニ依ランデモ、場所ノ使用ガ出來マスレバ宜イノデアリマスガ、場所ノ使用ガ出來ヌケレバ、土地收用法ニ依ツテ使用シヤウト云フノデアリマス

○男爵藤井包總君 此公共ノ用ニ使用スル土地ト云フノデアリマスカラ、何カ特別ニ地租ヲ免除サレルトカ、何トカ云フ方法ガアリサウナモノト思ヒマスガ、一向ソナヤウナ、ナニハゴザイマセヌカ、御詮議ニナツタコトハゴザイマセヌカ、此事ハ廣イ土地デゴザイマスカラ、殊ニ飛行場ト云フ 發著スル場所ト云フモノハ、隨分相當ノ數ノ必要ナモノデアラウト思ヒマスガ

○説明員(神田純一君) 地租ヲ免除スルト云フ規定ナンデス、此規定ハ

○男爵藤井包總君 本法ニ依ルト地租ヲ免除スル

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス

○男爵藤井包總君 ソレハ自分ノ所有セムトスルニハ相當ノ代價ヲ拂ハヌト所有スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレハ何カ特別ノ詮議ハナイノデスカ、隨分廣イ土地デアリマスガ

○説明員(神田純一君) サウデゴザイマス、自然國有地デ致シマス場合トカ、公有用地デ致シマス場合ニハ、特殊ノ便利デモ與ヘテヤルヤウナ便法モ必要ダト認メテ居リマス、例ヘバ隨意契約デ拂下ゲルトカ、何トカ致スコトガ必要ト認メテ居リマス、此法案ニハソコマデハ届イテアリマセヌ

○湯淺倉平君 第四十五條ノ一當該官吏トアリマスノハ、警察官バカリデナク、他ニモ之ニ當ル者ガアリマスノデセウカ、ソレカラ尙ホ著陸ヲ命ズル方法ハ、ドウ云フ方法ニ依ル譯デゴザイマセウカ、其方法ヲ一ツ例ヲ御示シテ願ヒタイ

○説明員(神田純一君) 此當該官吏ハ警察官ノミデナクシテ、時ニハ検査官吏ガ斯ウ云フ權限ヲ持ツテ居ル必要ガアルト思フノデアリマス、著陸ヲ命ジマス方法ハ一定ノ信號ガアリマスノデ、黒イ煙ノ上ル爆彈ヲ三發打ツトカ、夜間ハ火花仕掛ノ丸ヲ打ツトカ、特殊ナ信號ガ條約ニ決ツテ居リマス

○湯淺倉平君 委員長ニ伺ヒマスガ、私ハ三十五條ト三十六條トニ付キマシテ質問イタスコトヲチヨツト

○委員長(伯爵柳原義光君) 差支ゴザイマセヌ

○湯淺倉平君 三十五條ト三十六條トニ關連シテ居リマスガ、三十五條ニ依リマス、日本ノ航空機デナイ航空機デハ、補償ヲ取ツテ貨物又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居リマス、三十六條ノ方ハ行政官廳ノ許可ガナケレバ日本航空機トシテ運送業ヲナスコトヲ得ナイト云フ事ニナツテ居リマス、此二箇條ヲ對照シマスルト、日本航空機ヲ以テスレバ行政官廳ノ許可ヲ得ナクトモ有價デ、日本國有ノ各地ノ間ニ旅客又ハ貨物ノ運送ヲナシテモ差支ナイ、斯ウ云フコトニ解セラレルノデアリマスガ、サウ解シテ宜シウゴザイマスガ、ソレカラ郵便物運送ト云フコトハ、矢張り貨物ノ中ニ含ム譯デアリマスガ、此二點ニ付テ

○説明員(神田純一君) 日本航空機デアリマスナラバ、有償旅客又ハ貨物ノ運送ヲ致シマシテモ、認メテ差支ナイト云フ趣旨デアリマス、郵便物ハ郵便物ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、所謂貨物ノ運送ト云フ中ニハ這入ッテ居リマセヌ

○男爵藤井包總君 第四十三條ニ「航空機ノ救難及之ニ關スル處罰ニ付テハ水難救護法ヲ準用ス」ト云フト私ニハ分ラヌノデスガ、是ハ色々ナ場合モゴザイマセウガ、航空機ノ救難及ビ之ニ關スル處罰トハドウ云フ場合ノコトデ、ドウ云フ場合ニ出來ルノデアリマセウカ

○説明員(神田純一君) 航空機ガ海上デ遭難イタシマシタ場合ニハ成ルタケ水難救護法ヲ適用シヤウト云フコトヲ條約デ定メテ居リマス、日本ニモ水難救護法ト云フモノガアリマシテ、航空機ニソレヲ準用シヤウト云フ趣旨デアリマス、水難救護法ニハ色々ノ規定ヲ定メテ居ルノデアリマシテ、詰リ遭難イタルトカ、或ハ市町村デ直チニ通ジテヤルトカ、サウスレバ其船舶ノ遭難ノ救護ニ必要ナル處置ヲ執ル、市町村長ノ執ル援助ヲシナイモノハ是ノ罪ニ處スト云フヤウナ、水難救護ニ關スル綿密ナ規定ガアル、此飛行機ガ遭難シテ救護ノ場合、其規定ヲ準用シヤウト云フノデアリマス

○男爵藤井包總君 ソレハ海上ニアッタノコトデ、陸上ニアッタノ飛行機ガ危險ニ屬スルコトガアリマシガ、サウ云フ時ノ救護ト云フコトガチヨット分リマセヌガ

○説明員(神田純一君) 條約デハ水上デ遭難シタ場合ト陸上デ遭難シタ場合ト、矢張り同様ノ保護ヲ與ヘテ置ク方ガ、ト云フ考デ陸上ノ場合デモ水難救助法ヲ適用シヤウト云フノデアリマス

○男爵藤井包總君 ソレガ餘程實際上ムツカシイコトダラウト思ヒマスガ、何カ其方法ガアリマスカ、遭難ト云フコトノ

○説明員(神田純一君) 救難ノ場合デアリマスガ、特ニ落ち掛ケタノヲト云フノデナク、落ちタ飛行機ヲ處理マスル、例ヘバ飛行機ヲ運搬スルトカ、サウ云

フ場合ニ縦縦者獨リデハ運搬ガ出來マセスカラ、飛行機ノ運搬ヲ助ケテヤルト云フヤウナコトモ、一ツノ救難ノ方法デアリマス

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ第七章ノ罰則ニ移リマス

○子爵高倉永則君 罰則ノ所デ第四十八條ノ所ノ航空標識ヲ破損シタ場合デ、是ハ過失トモ過失デナクトモ同ジク是ハ辨償スル、或ハ過失ノ場合ハドウ云フ、故意ノ場合ハドウ云フト云フ意味ヲ含シデ居ラヌト思ヒマスガ

○説明員(神田純一君) 是ハ故意ノ場合ヲノミ含シデ居ル

○子爵高倉永則君 過失ハナイノデスネ

○説明員(神田純一君) はい

○男爵坂本俊篤君 私ハ唯今外ニ用事ガアリマシテ少シ遅レマシタカラ、再ビ前ニ追テ御尋スルコトヲ御許シヲ得タイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 宜シウゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 ソレハ第四十四條ノ、左ノ事項云々ハ、茲ニ事項ガ規定シテゴザイマスカラ、此命令ヲ以テ定ムベキ、是等ノ箇條ハドレ程御調査ガ進ンデアリマスカ、其邊ノ所ヲ一カラ六迄ノ箇條ニ付テ承ッテ置キタイノデゴザイマス

○説明員(神田純一君) 大體茲ニアリマスモノハ、條約ニモ規定シテアリマスガ、例ヘバ第一號ノ其他ノ物件ニ關スル件ト云フノヲ、先程モチヨット申上デマシタ様ニ、無線電信創設、或ハ落下傘ヲ備附ケマスルト云フ事デ、第二項ノ保安上又ハ軍事上ノ必要ノ爲航空機ニ搭載スル事ヲ制限又ハ禁止スル火藥類、寫真機其他ノ物件ト云フ中ニハ、或ハ不穩文書ヲ載セテハイケナイト云フコトモ想像セラレルノデアリマス、或ハ傳書鳩ヲ載セテハイケナイ、或ハ一項ノ方デ無線電信ヲ裝置スル義務ヲ拵ヘタノガアリマス、第二項ニハ無線電信ヲ裝置シテハイケナイト云フコトヲ、軍事上制限スル場合モアリマス、其他兵器ト云フモノハ飛行機ガ運搬シテイカヌト云フヤウナコトモ、或ハ特殊ノ場合ニハ規定スルコトモアルデアラウト思ヒマス、第三項ノ燈火及信號ニ關スル事項ハ

是ハ航空條約ノ第一附屬書ノ十一頁ノ所ニ書イテアリマス、ソレヲ全然入レタイト云フ考デゴザイマス、唯餘程綿密ナ規定ガ條約ノ附屬書ノ中ニ載ッテ居リマス、此規定ヲ一、法案ノ中ニ入レルモ形ノ上デハ如何ト思ヒマシタカラ、特ニ命令ニ規定スルコトニ致サウト考ヘタ次第デアリマス、第四號ノ衝突豫防ニ關スル事項、是モ大體第一附屬書ノ飛行規則ト云フ所ニ記載シテアリマス、ソレニ準ジマシテ規定スルト云フ考デゴザイマス、此航空標識及其他ノ設置ニ關スル事項ト云フノハ、航空標識ニハ色々アルノデアリマシテ、例ヘバ飛行場ヲ表示スル場合ノ如キ、航空用ノ飛行場ヲ表示スル場合ニハ斯ウ云フ標識ヲ造ル、或ハ私設ノ工場ヲ表示スルニハ斯ウ云フ標識ヲ造ル、或ハ航空禁止區域ニハドウ云フ標識ヲ造ルト云フ規定ヲ定メル積リデアリマス、第六ノ飛行場ノ設備ニ關スル事項ト申シマスルノハ、飛行場ノ規模ノ大小ニ依リマシテ、色々設備ノ程度ニ差ガアリマスカラシテ、サウ云フ様ナ規定ハ命令ニ依テ定メヤウ、詰リ公共用ノ飛行場、而カモ往來ノ頻繁ナル公共用ノ飛行場ヲ利用ヲナストカ、或ハ電信電話ヲ裝置シテ置ク、或ハ一般ノ氣象ノ聯絡ヲ取ル爲メニ簡易ナル氣象設備ヲシテ置ク、或ハ夜間ノ飛行ヲ遂ゲル爲メニ一種ノ電燈ノ裝置ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、色々ナ規定ヲ定メル積リデアリマス

○男爵坂本俊篤君 尙ホ此飛行機ノ乗員ノ人命救助ニ關スル「バラシユウト」ノ如キモノニ付イテノ御規定ガアリサウニ思ヒマスガ、若シアリトスレバ實ハ箇條デモ掲記サルベキ重大ナルコトデアルカト存ジマスルガ、唯今承ル所ニ於テハ第一ノ其他ノ物件ト云フ中ニ這入ッテ居ルガ如キ、チヨット御説明ガアッタヤウデアリマスガ、果シテサウデアリマスカ

○説明員(神田純一君) 飛行機ニ備附クベキ物件ハ、此第一項ノ其他ノ物件ノ中ニ這入ルノデアリマス、「バラシユウト」ノ如キモノモ、ドウ云フ風ニ検査スルカト云フコトハ、飛行機ヲ検査スル場合ニ、色々ノ部分ノ必要ヤ附屬品等ヲ検査スルコトニナルノデアリマスカラシテ、其時ニ検査ヲ致シマス積リデアリマス

○男爵坂本俊篤君 サウスルト、此第一項ニ這入ッテ居リマス

○説明員(神田純一君) 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 司法省ノ政府委員モ見エラレタヤウデアリマスカラ、第七章ノ罰則ニ付イテ御質問ヲ願ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此罰則ヲ通覽イタシマシタ所デ隨分此罰則ハ嚴シイヤウニ存ジマス、或ハ他ノ國ノ規定ハドウカ存ジマセムガ、チヨット英國アタリノ罰則ヲノゾイテ見タ所デハ、是等ヨリモモット手輕ニ出來テ居ルカノヤウニ感ゼラレル、無論一國ノ立法ハ他國ノコトヲ顧ミル必要ハナイノデアリマスガ、併ナガラ此航空機ノ如キモノハ世界ノ交通機關デアリマスカラ、コチカラモ行ケバ向フカラモ參リ、互ニ犯ス犯罪ガアル、事柄ニ依テハ同様に處罰サレルノデアリマスガ、此間ニ厚薄輕重ガアルコトハ大ニ考慮シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是等ノ點、即チ外國邊リノ罰則等ヲ御斟酌ニナツテ是等ヲ制定サレタモノデアリマセウカ、其邊ノ處ノ御考ヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(山岡萬之助君) 御尤ノ御尋デゴザイマス、此一國ノ法制ヲ立テマスニハ、其國ノ組織ニ從フコト云フコトハ尤モ大切デアリマスガ、他國ノ法制モ參酌スルト云フコトモ亦捨置クベカラザルコトデゴザイマス、ソコデ此英國其他、英國系ニ從ツタ所ニ於キマシテハ、何レモ刑罰ガ低イノデゴザイマス、是ハ斯様ナ次第カラ參ッテ居リマスノデ、我が舊刑法ガ丁度ソレデゴザイマス、佛蘭西ノ現行法ニ於キマシテモ矢張り我が舊刑法ト略々同様に觀念デゴザイマス、斯様ナル刑法ノ下ニ於キマシテハ刑罰ガ非常ニ違ッテ居リマス、程度ガ低ウゴザイマス、ソコデ英國ノ刑法ハ勿論左様ナ組織程度ニ從ッテ居リマスモデナクテ、刑罰ガ低イノデゴザイマス、所デ新シキ刑法ニ於キマシテハ丁度十九世紀ノ末頃、刑法ノ改正事業ガ世界一般ニ企テラレテ、其刑法ノ施行ノ刑ノ範圍ガ廣クナリマシテ、細カク刑ヲ切ッテ居ル事ヲ止メマシタ、ソコデ大陸方面ノ新シキ法案、若クハ新シキ刑法ニ於テハ我が新刑法ト同ジコトニ廣クナッ

テ居リマス、凡ソ刑ガアル位ノ程度ニナツテ居ルノデアリマス、ナゼ斯ウ云フ風ニシタカト云フト、是ヲ附加ヘテ御參考ノ爲ニ申述ベテ置キマスガ、事實ヲ見テ、其事實ニ付テ刑ヲ量定スルト云フ舊刑法ノ主義ニ變ハリマシテ、事實ト人ノ總テヲ斟酌シテ刑ノ量定ヲスル事ニナリマシタ、ソコデ一ツノ事實ヲ犯シタモノニ對シテハ輕クナリマスガ其人ガ慣行的ニ犯シタ犯罪ニ對シテハバズツ重クナリマス、事實ト性質トヲ見テ行ク事ニナリマスノデ、刑ノ範圍ヲバズツ延バシテアリマス、ソコデ裁判官ノ認定ニ依テ適當ノ刑ヲ設ケル立場ニ居リマス、刑法ニ於テハ左様ニ廣クナツテ居リマス、刑法ニ於テ往來ノ妨害罪ト云フモノガゴザイマス、是等ノ刑ハ矢張り重クアリマス、ソコデ此罰則ハソレ等ヲ餘ホド斟酌致シマシテ、尙ホ普通ノ往來ノ妨害、汽車、電車等ヲ障礙シタ場合ハ是ヨリ大體マダ少シク輕クアリマス、是ハ航空機ノコトデアリマスカラ其危險ト云フモノノ程度ガ更ニ甚シイト思ヒマスカラ、斯ク嚴シク大體シタ譯デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 唯今ノ御説明ニ、航空機デアアルガ爲ニ殊ニ刑罰ノ上ニ考慮ヲ拂ッタト云フ御答辯デアリマシタガ、併ナガラ又一面カラ鑑ミナケレバナラスコトハ、此航空機ト云フモノハ我國ニ於テハマダ非常ニ幼稚ノ狀態デアツテ、ソレガ爲ニ此今ノ過失ト云フヤウナコトガ起リ易イノデ、今日デノ墜落等ノ統計ノコトハ能ク存ジマセムガ、過失ニ原因スルモノガ多クアルダラウト思フ、然ルニ五十二條ニ即チ過失ニ依テ生ジタ所ノ此犯罪ニ對シテハ隨分重イ刑罰ヲ課セラレルコトニナツテ居リマスガ、是カラ斯ウ云フ事柄ガアル爲ニ飛行機乗ヲスル者ニ萎縮ノ念ヲ起サシメ、延ヒテ飛行機ノ航空一般事業ヲ阻害ヲ來サシムナ損ナキカラ虞レルノデアリマスガ、此點ハ如何ナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(山岡萬之助君) 此點モ矢張り此船舶鐵道等ニ從事致サレル人ノ過失ニ對スル點ガ、屢々アルト云フヤウニ段々御述ニナリマシテ、御意見ニモアリマスガ、兎モ角モ此公ケノ航空ニ供スルモノデゴザイマス、汽車電車ニ付キマシテハ汽車電車船舶

ハ普通ノ場合トハ異ニシテ刑ヲ強ク致シテアリマス、此飛行機ハ固ヨリマダソコ迄ノモノニナツテ居リマセズ、是カラ發達スルノデゴザイマスカラ、唯今ノ御説ノヤウナ懸念ハ御尤デアリマスガ、併シ法ヲ立テルニ當リマシテハ矢張り是ハ運輸ノ用ニ供スルト云フ頭デナケレバナリマセム、又本法ニ於キマシテモ、航空及運輸ト云フ事ガ第五章ニ規定サレテ居リマス、ソコマデ豫定シタ法律デゴザイマス、左様ナル考ヲ致シマシテ規定イマシタ譯デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 此第五十七條ノ第二項デ、第三十條ノ規定ニ違反シタル者ノ罰則ガ茲ニ定メテアリマスガ、ソコデ此第三十三條ハドウ云フコトカト云フト、日本國外ヨリ發航シ、著陸スルコトナクシテ日本國ヲ通過シ日本國外ニ至ル航空機ハ、行政官廳ノ指定スル航空路ニ由ル事ナクシテ通過シタモノハ、即チ此第五十七條ノ第二項ニ依テ罰セラレルノデアラウト思ヒマスガ、此航空路ト申シマス如キモノハ空中ノ通路デアリマシテ、是ハ普通一般ニ海上ヲ船ガ通りマス航路ノ如キモノヨリハ、餘程是ハ完全ニ經由スルコトハ困難ナ事デアラウト考ヘマスガ、是等ノ路ヲ誤ツタカラト云ツテ、直チニ刑罰ヲ課スルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、此路ハ通ルコトガ出來ナカッタト云フコトノ事情ハ、空中ニ於ケル諸種ノ氣象上ヨリ餘儀ナクサレルコトモアリマセウ、其他機械上ノ故障トカ、色々デ完全ニ航空路ヲ迪ルコトノ出來ナイ原因ガアラウト思フ、是ハ海上航海ノ船舶ヨリモ困難ナ事情ヲ鑑ミマシテ聊カ酷ニ失スル罰則デハナイカト考ヘマス、之ガ原因トシテ何等顧慮スル所ナク道ヲ誤ツタモノハ皆處罰サレル、斯ウ云フ御考ヘニ基クモノデアリマセウカ

○政府委員(山岡萬之助君) 其點ハ斯様ナ事情デアリマス、航空路ヲ極メルコトハ勿論海路ヨリモ難シイコトデアラウト存ゼラレマス、デ航空路ハ一ツ極ッテ、ソレカラ其航空路ヲ通過シタモノデアアルヤ否ヤト云フコトハ、固ヨリ刑事裁判上ニ於キマシテ之ヲ見分ケルト云フコトハ、刑事裁判官自體ニハ先ヅ不可能デアラウト、從ッテ斯様ナモノハ、鑑定ヲ俟ッテ事實ヲ極メマシテ、而シテ如何ニモ不都合ナ航空路ヲ

通過シタルノデアル、斯ウ云フ事ヲ鑑定ニ依ッテ極ッテ
參リマス、左様ナ場合ニ於テ此五十七條ニ從ッテ刑罰
ニ處シマスルノデアリマス、五十七條ハ故意犯デア
リマシテ、特ニ不都合ナコトヲ知ッテシタル場合デア
リマス、其以外ノ場合ハ此五十七條ニ豫定イタル居
ル性質デナイノデアリマス、從ッテ過失デヤツタ場合
ハ無論無罪デアリマス、又不可抗力ニ依リ、其他ノ事
情ニ依ッテ不都合ナモノデナイト云フモノニ於テハ
刑法ノ總則ニ從ヒマシテ、斯様ナモノハ罪ニナラヌ
ノデアリマス、此以上ハ不都合ニ其航路ヲ外ニ取ツ
ト云フ、斯様ナ場合ニ適用ニナリマスモノデアリマ
ス、左様御了承ヲ……

○男爵藤井包總君 第五十條ノ現ニ航空ノ用ニ供ス
ル航空機ヲ墜落、顛覆、若ハ覆沒セシメ又ハ破壊シタ
ル者ト云フ罰則デアリマスガ、其前項……此覆沒、顛
覆若ハ墜落セシメト云フノハ、矢張り前項ノ業ニ依ッ
テ爲サシメルト云フ意味ノモノデアリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) ソコ迄ハ掛ッテ居リマ
スデ、是ハ現ニ航空ノ用ニ供シテ居ル航空機、斯様
ナ趣旨ニナルモノト存ジテ居リマス、現ニ供サナイ
所ノ航空機ヲ顛覆トカ覆沒破壊シタル云フガ如キ事
ハ、左様ニ重キ罪トシテ罰スル必要ハナイノデ、現
ニ航空ノ用ニ供シテ使ッテ居ル所ノ航空機ヲバ特ニ
破壊スル、斯様ナル趣旨デゴザイマス

○男爵藤井包總君 サウシマス云フト、航空機ヲ
運用シテ居ル、其運用者ガ過ッテ墜落顛覆シタル者ニデ
モ矢張り此三年以上ノ懲役ニ處セラレルト云フノデ
アリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) ソレハ五十條ノ方ニナ
リマス、過失ニ依ッテ方ハ……

○男爵藤井包總君 其五十條ハ……

○政府委員(山岡萬之助君) 此方ハ故意ノ方ダケデ
アリマス、不都合ニ斯様ナコトヲシタ、其事情ヲ能ク
知ッテ居ッテ之ヲ破壊シ顛覆、覆沒セシメタル云フ場
合、即チ不都合ノ場合ダケデアリマス

○男爵藤井包總君 チヨット分リ兼ネマスガ、其航空
機ニ乗ッテ居ッテ、其航空機ヲ運轉スル者ガデスネ、其
者ガドウモ過ッテ、ワザト航空機ヲ落シテカラニ、自

分ノ生命迄モ危ウクスルト云フコトハアリ得ベキコ
トデナイカノヤツニ承知シマスガ、併ナガラ顛覆、覆
沒サシタル云フコトハ、ドウ云フ場合……

○政府委員(山岡萬之助君) ソレハ事實ニ於キマシ
テハ自ラノ生命ヲ失フノデゴザイマスカラ、左様ナ
コトハ先ヅナイノデアリマスガ、自殺デモスル積リ
デ落チテ來ナケレバナラヌ、サウ云フ場合ハ五十條
ニ入ルノデアリマスガ、死ンデ丁ッタク者ハ仕様ガアリ
マセヌ、假リニ生命アリトスレバ犯罪ニナルノデア
リマスガ、併シ乗ッテ居ッテ業務ニ從事シテ居リマス
者ノ方ハ、五十二條ノ方ノ過失ノ爲ニト云フ場合ニ
事實ハ止マルノデアリマス、此方ハ其運轉スル者デ
ナクテ其ヨリ外ノ人ヲ取締ルト云フノガ主タル目的
デアリマス

○男爵阪谷芳郎君 此第五十條ノ現ニ航空ノ用ニ供
スルト云フコトハ、今政府委員ノ御説明ニ依ルト、己
レガ乗ッテ居ル所ノ航空機ト云フヤウニ解釋サレル
ヤウデアリマスガ、左様ニ是ハ限定シタル意味デアリ
マスカ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(山岡萬之助君) 私ノ申上ゲマシタルガ
或ハ言葉ノ廻ハシヤウガ惡カッタカ知レマセヌガ、
其人ガ現ニ使ッテ居ルカ否ヤト云フコトヨリモ、航空
機トシテ使ヘナイモノガ出來テ來ヤウト思ヒマス、
是ハ現ニ航空ノ用ニ供スル、現ニ使フ所ノモノデア
ル、斯様ナ意味ニ解釋致スノデアリマス、言葉ガ足り
ナカッタカ知レマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 一向不明ニナッテ參リマシタガ、
何等是ニ現ニトカ何トカナシニ、航空機ヲ墜落、斯ウ
云フヤウニ言ッテアッタナラバ、總ベテノモノヲ包シ
テ却ッテ安全デハナイカト思フノデアリマスガ、現ニ
航空ノ用ニ供スルナント云フト、唯今ノヤウナ疑ヒ
ガ存スルノデ、或ハ古クナッテ、役ニ立タナイト云フ
モノハ、是ハ進入ラナイ、現ニ航空ノ用ニ足ルモノ
デアアル、サウ云フモノヲ指シテ現ニ航空ノ用ニ供ス
ル、カウ云フモノヲ言フ、又現ニ乗ッテ居ルモノハ勿
論ノコト、斯ウ云フヤウナ意味ノ現在使用ニ足ル所
ノ航空機ハ、斯ウ云フ譯デハナイノデセウカ

○政府委員(井上幾太郎君) 此航空ト云フコトハ第

一條ニ説明シテアリマシテ、本法ニ於テ航空トハ是
ハ滑走カラ始ッテ、ソレカラ著陸マデニ終ルモノガ航
空デアリマス、現ニ航空ト云フノハ即チ滑走ヲ始メ
テカラ著陸スルマデノモノヲ航空ト云フノデアリマ
ス、倉庫ニ格納シタルアルトカ、飛行場ヲ唯速搬シツ
アルト云フモノノ意味デハナイノデアリマス、其間
ガ最モ危險ガ多イ、ソレデアアルカラ五十條ニ依ッテ……

○男爵坂本俊篤君 乗ッテ使用中ト云フ意味デスカ
○政府委員(井上幾太郎君) 航空ノ爲ニ使用中デア
リマスカラ、飛行場ヲ一地方カラ一地方ニ移ルト云フノ
ハ是ハ航空ニナラナイ、航空ノ爲ニ滑走カラ始ッテヤ
ルノガ航空デアリマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、例ヘバ距離
ハ近クトモ現ニ滑走ヨリ始ッテ空中ニアッテ著陸スル
マデノ間ガ現ニ航空ノ用ニ供スル、斯ウ云フコトニ
ナルノデスカ

○政府委員(井上幾太郎君) 左様デゴザイマス
○男爵坂本俊篤君 第五十二條ノ第二項デアリマス
ガ、其業務ニ從事スル者ガ前項ノ罪ヲ犯シタル場合
ニハ云々トアリマスガ、他ニ若シ同乗者ガアリマシ
テ、其同乗者ニ負傷ヲ與ヘタル場合ト云フ様ナコトハ、
ドウナリマスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 是ハ刑法ニ於キマシテ
ハ業務上ノ過失ト云フモノハ矢張り自由刑ノ罰金ト
兩様ニシテ規定ガアリマスノデアリマス、刑ハ低ウ
ゴザイマスガ、而シテ此所ノ前項ノ罪ヲ犯シタル
場合ニ限ッテ居ルカラ、死傷ト云フ事ノ問題ハ此所ニ
進入ッテ居リマセヌ、從ッテ人ヲ死ニ致シタル云フ事
ガアリマスレバ、刑法デ申セバ一ツノ行爲ニ依ッテ一
ツノ害ヲ生ゼシムルト云フ事ノ適用ニナリマシテ、
其兩方ヲ比較イタルシテ重キニ處斷スルト云フ扱ヒニ
ナリマス

○男爵坂本俊篤君 尙ホ續イテ此過失ノ犯罪ニ付テ
伺ヒマスガ、是ハ業務ニ從事シテ居ル者ガ斯様ナ事
柄ヲ生ゼシメタルト云フコトハ、矢張り海軍士官ガ過
失ニ依ッテ船艦ヲ覆沒サシタルト云フ様ナ事柄ト、矢張
リ同一ナコトニナラウト思ヒマスガ、私ハ刑罰ノコ

トハ……

トハ……

トハ……

トヲ存シマセズデスガ、是等ト比較シテドウ云フ輕重ガアリマスノデスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 此ノ刑罰ノ輕重ノ事ハ具體的ニ調査イタサナケレバ申上テ兼ネマスガ、趣旨ハ御意見ノ通りデアリマシテ、業務ニ從事シタ其人デナケレバ斯様ニ重クハ罰セラレマセヌ、例ヘバドレダケノ身分ガアリマシテモ業務ヲ執ツテ居タ場合ニ於テ、斯様ナ行爲ヲシタ時ニハ罰シマスル、刑法ニ於テハ人ヲ死傷イタシタト云フコトニ付テハ特ニ規定ガアリマスルカラ、茲ニハ斯ク規定シ、ソレノ各法文ニ規定ガアリマスカラ、唯今由ニ其刑罰ノ範圍ヲ申上兼ネマス、調査ヲ致シマシテ……

○男爵坂本俊篤君 尙ホ是等ハ刑罰ノ輕重ハ是ト比較シテ御定メニナル必要ガアラウカト存ジマスガ、此點ノ御調ベヲ願ツテ置キマス

○湯淺倉平君 チョット速記ヲ御止メテ願ヒマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記ヲ始メテ、ソレデハ此航空法案ノ質問ハ先ヅ濟ンダト見マシテ、無線電信法中改正法律案ノ質問ヲ始メマス、其所管ノ説明ヲ請ヒマス

○政府委員(米田奈良吉君) 本案ヲ提出イタシマシタ理由ノ概要ヲ御聞ニ達シタイト思ヒマス、御承知ノ如ク航空機ニ依リマシテ通信ヲ致シマスニモ要スル、此船舶ト同様ニ、其航空機ニ無線電信若クハ無線電話ヲ備付ケマシテ、陸上ノ無線電信局トノ間ニ通信ヲ開始スルコトニナリマス、其點ニ付キマシテハ恰モ航空機ハ船舶ト同様ト見做スベキモノト考ヘテ居リマスノデゴザイマス、而シテ現今ノ無線電信法ニ付キマシテハ、船舶ヲ基礎ニシテ規定シテ居リマス結果ト致シマシテハ、航空機ニ設置スル無線電信無線電話ノ規定ヲ缺イテ居リマス爲ニ、現行無線電信法ノ終リニ今回改正法律案トシテ提案イタシマシタル二箇條ヲ加フルコトニ致シマシテ、無線電信無線電話ニ關シテハ、船舶無線電信電話ニ關スル規定ヲ準用スル、而シテ本法ノ適用ニ付キマシテハ無線電信法ハ航空機ヲ船舶ト見做シテ、無線電信法ヲ適用スルト云フコトニナリマシタル一面ノ理由ト致シマシテハ、大正八年ノ十月ニ巴里ニ於テ締結セラレマシタ國際航空條約中ニ、無線電信ニ關スル諸般ノ規定ヲ設ケテアルノデゴザイマス、此ノ國際航空機條約ガ詰リ御批准ニナリマスレバ、外國カラモ航空機ガ我國ニモ飛來スルコトノアルコトモ豫定シナケレバナラスノデアリマス、又此點ニ付キマシテモ相當ノ規定ヲ設ケル必要ガアルノデゴザイマス、然ルニ前申上デマシタル如ク、航空機ノ通信機關ニ付キマシテハ、內國ノ航空機及ビ外國ノ航空機、其ニ規定ヲ缺イテ居リマス爲ニ甚ダ不便ヲ感ジテ、遂ニ此法律案ヲ提出スルコトニナリマシタ、此重ニ如何ナルコトガ規定ノ上デ最モ關係ガ深イカト申シマスル、第一航空機ニ施設イタシマス無線電信電話ノ取付ケ等ニ付キマシテハ、ソレノ政府ノ許可ヲ必要トシマスルシ、又其航空機ノ運用ニ付キマシテ、ソレノ通信ノ致シ方等ニ付キマシテノ取締方法ヲ規定イタシテ居リマスノデゴザイマシテ、又航空機遭難ノ場合ニ於キマシテ、航空機ノ安全、人命ノ救助等ノ爲ニ雙互ノ通信ヲ、應急ノ救助上ノ通信ヲ爲スト云フコトモ起リマス結果ト致シマシテ、是等ノ場合ニ於テ執ルベキ處置ヲ規定イタシマシタルノデゴザイマス、ソレデ現行法律デ、以上申上マシタル諸般ノ箇條ノ適用アル條項ヲ申上マスレバ、第二條デゴザイマス、無線電信法ノ第二條此第二條ニハ、航空機ニ無線電信又ハ無線電話ヲ私設セムトスル者ハソレノ主務大臣ノ許可ヲ受ケテカラデナケレバ施設スルコトハ許サスト云フコトヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ序ニ第四條ニ至リマシテ、私設ノ無線電信及ビ無線電話ヲ航空機ニ取付ケマシタル場合ニハ、第二條ニ依テ許可ヲ得マシタ其目的以外ニ、之ヲ使用スルト云フ事ガ出來ナイト云フ取締ヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、併シ此命令ニ定ムル所ニ依リマシテ、航空機ノ遭難通信ニ依リマシテ、無線電信無線電話ヲ使ヒマス場合ニ、是ハ命令以外ト雖モ自由ニ通信ヲスルト云フ事ヲ認メテ居ルノデゴザイマス、次ニ第五條デゴザイマスルガ、第五條ニ於キマシテハ外

國ノ航空機ニ施設シテ居リマス無線電信又ハ無線電話ヲ、我國ニ於テ使用セムトスルモノハ、無線電信法ノ第二條ニ依テ矢張り主務大臣ノ許可ヲ必要トスル、併ナガラ遭難通信ノ場合ニアリマシテハ、自由ニ電信官署又ハ電話官署トノ間ニ、命令ノ定ムル所以外ニ於テモ通信ヲ爲サシムルコトガ必要ト認メマシテ、内地ノ航空機ト同様ナ除外例ヲ認メタノデゴザイマス、次デ第八條デゴザイマスガ、第八條ニハ主務大臣ハ公安ノ爲ニ必要ト認メタ時ニハ、外國航空機ニ裝置シテアリマス無線電信又ハ無線電話ノ使用制限、又ハ停止或ハ其取付ケテアル機械、附屬器具ノ除却ヲ命令スル事ガ出來ル、併シ此場合ニ於キマシテモ、若シ當該大臣ニ於テ此機械附屬器具ニ封印ヲシテ、ソレデ除却ニ代ヘテモ宜シイト云フ事ヲ認メマシタ時分ニハ、其處置ヲ執ル事ガ出來ルト云フ規定ヲ設ケテ居ルノデゴザイマス、次ニ起リマスルガ十一條ノ規定ニ該當スル事項デゴザイマシテ航空機ニ施設シテ居リマス無線電信又ハ無線電話等ハ他ノ方面カラ遭難通信ノ取扱ヲ依頼サレタ時分ニハ之ヲ拒ム事ガ出來ナイ、私設無線電信無線電話及外國ノ航空機ニ裝置シテアリマス無線電信、無線電話ト雖モ、矢張り内地ノ先程申上デマシタル場合ト同ジク、遭難通信ノ依頼ヲ受ケマシタル場合ニハ、之ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フ事ヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、次ニハ第十二條デゴザイマシタル、次ニハ第十二條デゴザイマシタル、遭難ガアリマシタル場合ニハ直グソレニ應答ヲ致シマシテ、救助上最モ便宜ノ位置ニ在ル無線電信局、若クハ無線電話ノ局ニ其通報ヲ爲ス、斯ウ云フ義務ヲ負ハシテ居ルノデゴザイマス、此場合ニ於キマシテ或ハドコソコノ方面ノ局ニ通報シテ與レト云フヤウナ、特殊ノ事項ノ通報ヲ求メラレタ時分ニハ、矢張り其求メラレタ所ニ從フテ通報ヲセナケレバナラスト云フ事ヲ命ジテ居ルノデゴザイマス、次デ十四條ニ至リマシテ、政府ハ航空機ニ施設シテアリマス無線電信、或ハ無線電話ヲ使用イタシマシテ、一般公眾通信ヲ開始スル必要アリト云フ事ヲ認メマシタル場合ニ於テハ相當ノ使用料ヲソレ等ノ施設者ニ與ヘマシテ、之ヲ公眾通信用ニ供スル事ガ出來ルト云フ事ヲ規定イタシテ居ルノデゴザイマス、公眾通信用ニ供シマスル無線電信、又ハ無線電話ニ依ル通信デ、航空

機遭難通信ニ關係シマスルモノデアルナレバ、矢張り是ハ無料扱ヒヲスルト云フコトヲ、次ノ十五條ニ規定イタシテ居ルノデゴザイマス、十九條ニ至リマシテ政府ガ航空機ニ施設シテアリマスル無線電信、無線電話ヲ公衆ノ用ニ供スル場合ニ於テ、若クハ政府ガ航空機ニ公衆通信ノ施設ヲ致シマスル場合ニ、正當ノ事由ナクシテ航空機ノ方デガ使用ヲ拒ミマシタ場合ニ於テハ相當ノ制裁ヲ加ヘル、所謂罰金刑ヲ科スト云フ事ニ規定ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、是ガ十九條デアリマス、尙ホ二十二條ノ所ニ虛偽ノ通信ヲ致シマシタ者ノ制裁規定ヲ設ケテ居ルノデゴザイマス、所謂遭難ノ事實ナキニ拘ラズ、又ハ航空機ニ依ル無線電信又ハ無線電話ニ依リマシテ、遭難アリト云フ通信ヲ致シマシタ者ニハ、三箇月以上十年以下ノ懲役ニ處スル、又無線電信電話ノ事務ニ從事スル者ガ此行爲ヲ爲シタ時ニハ、一年以上ノ有期懲役ニ處スルト云フ事ヲ決メマシテ、制裁規定ヲ置イタノデゴザイマス、無線電信ノ事務、若クハ無線電話ノ事務ニ從事スル者ガ、正當ノ事由ナクシテ航空機遭難通信ノ取扱ヲセナカッタ場合、若クハ之ヲ事由ナクシテ遲延セシメタ場合ニ於テハ、一年以上ノ有期懲役ニ處スル、航空機遭難通信ノ取扱ヲ妨害シタル者ノ處罰モ之ニ準ジテ制裁ヲ加ヘル、是ハ二十四條ヲ準用シテ居ルノデゴザイマス、尙ホ前三箇條ノ未遂犯ト雖モ之ヲ罰スルト云フ二十六條ヲ適用シテ居ルノデゴザイマス、是ガ航空機ヲ船舶ト看做シマシテ、航空機ニ施設スル無線電信無線電話ニ適用スル大體ノ條項デアルノデゴザイマス、尙ホ航空機ニ施設致シマシタル無線電信又ハ無線電話ニ關シマシテ、航空條約中ニ規定サレテ居リマスル規定ヲ申上ゲマスルト、是ハ煩雜ニ流レマスルカラ、凡ソドウ云フ條項ニアルカト云フコトヲ申上ゲテ、御問ノゴザイマシタ時分ニ、其條文ヲ讀上グル事ニ致シタイト考ヘマス、航空條約ノ第三條ニ之ニ關係シタ規定ヲ設ケテ居リマス、次デ第四條ニアルノミデアリマス、ソレカラ第十四條ニ其規定ヲ設ケテ居リマス、ソレカラ第十五條、第十九條、二十二條、二十三條、二十五條、三十四條、三十五條、以上各條ニ航空機ニ附

設イタシマス無線電信ニ關係スル規定ガ設ケテアリマスノデ、從ッテ前段申上ゲマシタ如ク、航空條約ガ近ク御批准ニナリマスレバ、矢張り此規定ヲ出サナケレバナラヌト云フコトニナッテ參ッテ居ルノデゴザイマス、尙ホ御問ヒニ應ジマシテ御説明ヲ申上ゲタイト考ヘマス、ドウカ御審議下サイイマシテ御協賛下サレムコトヲ希望イタシマス

○男爵坂本俊篤君 此飛行機ノ無線電信到達距離ト云フモノハドノ位ノモノデアリマスカ、現ニ我國デモ始終ソレハ實行サレテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(米田奈良吉君) 唯今ノ所デハ、極メテ飛行機ニ附設イタシテ居リマスル無線電信ノ到達距離ト云フモノハ低イノデゴザイマス、十分ノ「キロワット」乃至二十分ノ「キロワット」ノ電力ヲ使用シテヤリマススト云フト約百哩、若クハ二百哩位ニ行キマス、併ナガラ之ヲ飛行船ノヤウナ大型ナルモノニナリマシテ、モット動力ヲ強クシテ行キマスレバ千五百哩マデニ達シ得ルコトガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 御質問ゴザイマセヌカ……ソレデハ休憩イタシマス

午後三時二十分休憩

午後五時八分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ之ヨリ再ビ開會致シマス、條ヲ追ウテ討論スル等デアリマスルガ、便宜上此航空法案全部ヲ議題ニ出シマスカラ、御意見ノアル御方ハ御發表ヲ願ヒマス

○湯淺倉平君 私ハ修正ノ意見ヲ提出致シマス、ソレハ原案ノ第六十二條ヲ削除致シマシテ、原案第六十四條トアリマスノヲ第六十三條トシ、之ニ一項ヲ加ヘマス「前項ニ規定スル科料ハ法人ニアリテハ理事取締役其他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス」ト云フ項ヲ加ヘテ第二項ト致シマス、サウシテ原案ノ第六十五條トアリマスノヲ第六十四條ト修正ヲ致シタイノデアリマス、其理由ハ原案第六十三條ハ本法ノ罰則ハ法人ノ場合ニハ違反行爲ヲ爲シタル理事取締役其他ハ代表者ニ罰則ヲ適用スルト云フ

コトニナッテ居リマスガ、行爲ヲ爲シタル者ガ其制裁ヲ受ケルコトハ原案第六十三條ノ規定ヲ待タナイノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、原案ノ第六十三條ハ蛇足ノ規定デアリマス、故ニ大體ニ於テ蛇足ノ規定デアリマスカラ之ヲ削除イタシマス、併ナガラ原案第六十四條ニ規定シテアリマス科料ノ制裁ニ付キマシテハ、所謂民事罰デアリマシテ犯意ヲ必要トシナイモノデアリマスルガ故ニ、法人ノ場合ニ於キマシテハ、法人ノ役員ニ對シテ之ヲ適用スル必要ガアルノデアリマス、其理由ヲ以チマシテ前申シタヤウニ修正ノ意見ヲ提出シタ次第デゴザイマス、尙ホ附ケテ申上ゲタイノハ、原案ノ第六十四條修正意見ノ修正ノ結果、第六十三條トナリマスル條ノ第二項トシテ新ニ加ヘマス條項ハ、無盡業法ニ其前例ノアル規定デアリマシテ、稀デハアリマスガ立法ニ前例ノアル次第デアリマスカラ、是ハ御參考マデニ添ヘテ申述ベテ置キマス、何卒御賛成ヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 右ノ修正說ニ關スル政府ノ御意見ヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山梨半造君) 今御修正ニナリマシタ條項、其理由ニ至リマシテ間然スル所ガナイノデアリマスルカラ、政府ニ於テハ全然之ニ同意イタシマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 修正說ニ對シテ他ニ御意見ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳原義光君) 然ラバ此修正說ガ成立イタシタモノト認メマス

○男爵坂本俊篤君 本航空法案ヲ通覽イタシマスニ、隨分此檢査ノ事、又取締ノコト等ナカク煩瑣ニ互ツタ規定ガアリマシテ、且是等ノ規定ニ付テハ、命令ニ將來讓ラレルモノガ多クアルノデアリマス、又罰則ノ如キハ隨分嚴重ナ罰則ヲ設ケラレマシテ、中ニハ或ハ過酷ニ失セザヤトセラレルノモアリマスガ併ナガラ法ハ主トシテ其適用如何ニ待ツノデアリマスカラ、我ガ航空界ノ幼稚ノ時代ニ於キマシテハ、是等煩瑣ナル檢査取締又ハ罰則等ノアリマスル爲ニ、航空事業ノ發達ヲ萎縮セシムルト云フ虞ノナイコト

モナイノデアリマスルカラ、此法ヲ適用サレル上ニ於テハ十分此點ニ考慮サレテ、寬嚴宜シキヲ得ルヤウニアリタイト存ジマス、尙ホ此航空ノ事業ノコトタルヤ、將來ノ戰爭ハ空ヲ征スル者ニ戰勝ガ屬スルト云フ程ノ未來ヲ持ッテ居ルモノデアリマスシ、又經濟上ニ於キマシテモ、航空ノ發達ニ待ツコトガ非常ナモノガアラウト思フノデアリマスカラ、偶々斯様な航空法案ノ制定サレマシタ事ハ、最モ宜シキヲ得タコトデアリマスカラ、將來當局ニ於キマシテモ此航空事業ノ助成等ニ向ッテハ全力ヲ注ガレテ、是等ノ希望ヲ全ウサレムコトヲ望ム次第デアリマス、此希望ヲ以チマシテ私ハ修正サレタ原案ヲ贊成ヲ致シマス

○政府委員(山梨半造君) 今坂本男爵ノ御注意ノ點ハ、當事者トシテ一々御尤モト感ジマシテ、ソレニハ考慮ヲ拂フ積リデアリマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 他ニ御意見ナケレバ、採決ヲ致シマス、修正說ニ依レル航空法案全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳原義光君) 全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、次ニ無線電信法中改正法律案之ヲ問題ニ供シマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳原義光君) 全會一致デ可決ニナリマシタ、是レニテ散會致シマス
午後五時二十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳原 義光君
副委員長 男爵坂本 俊篤君
委員

子爵高倉 永則君
男爵阪谷 芳郎君
男爵藤井 包總君
湯淺 倉平君
三木 與吉郎君

政府委員

説明員

陸軍次官 山梨 半造君
陸軍中將 井上 幾太郎君
海軍次官 井出 謙治君
司法事務官 山岡 萬之助君
遞信省通信局長 米田 奈良吉君
航空局書記官 神田 純一君

大正十年三月二十五日印刷

大正十年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局